

平成22年度 平石北小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

<p>(1) 基本目標 心身ともに健康で、自ら考え主体的に行動し、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かでたくましく生きる児童を育成する。 ～ 心ゆたかで かしこく たくましく ～</p> <p>(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりがあり協力し合える子（心ゆたかで） ・進んで学び自ら考える子（かしこく） ・心と体をきたえる子（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

<p>－ 秩序があり安心して「学び」・「教え」・「支え合える」活力ある学校経営の推進 －</p> <p>◇目指す学校の姿（本校の使命） 「 活気あふれる地域の学校 」</p>

3 学校経営の方針（中期的視点）

<p>◇ 学校像と教職員像</p> <p>(1) 夢や意欲をもたせる学校 (2) 心豊かな児童が育つ学校</p> <p>(3) 一人一人の自立を支える学校 (4) 誰からも信頼され魅力のある学校</p> <p>(5) 専門性が高く情熱のある教職員 (6) 人間性・社会性豊かで信頼される教職員</p> <p>(7) 学校組織の一員として協力し合える教職員</p> <p>◇「平北プロジェクト」(本校教育の重点)の策定と全職員による実践推進</p>

4 今年度の重点目標（短期的視点）

<p>(学校運営) ・学校マネジメントシステムを生かした活気あふれる地域の学校づくりの推進</p> <p>(児童生徒指導) ・思いやりの心を持ち、主体的に正しく行動できる児童の育成</p> <p>(健康・体力) ・自己の健康・体力についての理解を深め、進んでその向上に努める児童の育成</p> <p>(学習指導) ・「分かる授業」による、意欲をもって進んで学習する児童の育成</p>

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価（◎達成 ○良好 ▲課題）
教育全体の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート（1）各対象 肯定的回答90%以上</p>	<p>学校行事や児童会活動などの充実を図り、児童が主体的に意欲をもって活動できる場を多く設定する。</p>	B	<p>◎：数値指標を概ね達成している、または、観察・調査等により概ね達成している</p> <p>○：数値指標を含め、総合的に見て良好だが、留意すべき点などがある</p> <p>▲：数値指標の達成が不十分、または、観察・調査等により不十分である</p> <p>【全体アンケート回答 1とても思う 2まあ思う 3あまり思わない 4思わない 5判断できない ※1+2=肯定的回答】</p>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート（2熱心・3誠実）各対象 肯定的回答90%以上</p>	<p>学校組織の一員として情熱をもって教育に当たれるよう、目標管理に基づく教職員評価システムを有効に活用する。</p>		

	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕</p> <p>B1 正しく行動する。 【数値指標】 全体アンケート（4）各対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>「ひらきたよい子の一日」による指導の徹底と「チェックリスト」による振りかえりを年間4回実施する。</p> <p>あいさつや廊下の歩行の徹底、場に応じた言葉遣い等の継続的な指導を全職員で行う。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>誠実さでは、地域住民は「判断できない」が7.4ポイントあり、概ね達成していると言える。</p> <p>○A3・B1（教:86.6保:82.5地:84児:78.7） 数値指標を児童が1.3ポイント達成していないが、日常の状況から見てほぼ良好である。「チェックリスト」は予定通りに実施できたが、今後も、児童一人一人への学習や生活態度等の定着を図るため、全職員で継続的な指導を行っていく必要がある。</p> <p>▲A4（教:100保:68.9地:87.5児:88.5） 数値指標を保護者が11.1ポイント達成していない。また、市小学校全体と比較しても、保護者と児童は数値が下回っている。</p> <p>習熟度別学習や学習支援はほぼ計画通りに実施できた。</p> <p>○A5（教:100保:87.1地:92.3児:90.8） 数値指標を保護者がわずかに達成していないが、ほぼ良好である。学校行事等は予定通りに実施でき、児童も充実感を味わえた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A3については、チェックリスト活用について指導の充実を図っていく。 ・A4については、保護者や児童の期待に応えられるように、今後も職員研修等の充実を努め、学習指導の充実を図っていく。
	<p>A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート（5）各対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>国語と算数における習熟度別学習の実施（5・6年対象）や夏季休業中の学習支援（全学年対象）など一人一人に応じた指導を工夫する。</p>	B	
	<p>A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート（6）各対象 肯定的回答90%以上</p>	<p>新学習指導要領等に基づく授業時数の確保に努めるとともに、年間を通して行事を適切に実施する。</p>	B	
	<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート（7）各対象 肯定的回答90%以上</p>	<p>学校便り・学年便り・図書館便り・食育便り、保健便りを月1回発行し、学校ホームページを随時更新する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>◎A6（教:100保:96.2地:88.4） 地域住民は「判断できない」が7.6ポイントあり、数値指標を概ね達成していると考えられる。</p> <p>学校便りなど各種便りは予定通りに配付した。また、ホームページも充実してきた。</p> <p>◎A7（教:100保:90.9地:88.4児:90.2） 地域住民は「判断できない」が7.6ポイントあり、数値指標を概ね達成していると考えられる。</p> <p>特に、地域協議会を中心とした学校支援ボランティア活動の充実が図られた。</p> <p>○A8（教:100保:78.0地:88.4児:87.3） 数値指標は保護者がわずかに達成していないが、ほぼ良好である。清掃については、児童数・職員数が少なく苦労している。</p> <p>▲A9（教:100保:65.9） 数値指標は保護者が約14ポイント達成していない。また、市小学校全体と比較しても、数値が下回っている。</p> <p>一人1公開授業は予定通り実施した。</p>
学校運営の状況	<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート（8）各対象 肯定的回答90%以上</p>	<p>地域協議会やPTA、学校支援ボランティア等との連携・協力のもとに、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進する。</p>	B	
	<p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート（10）各対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>限られた学校施設・設備や予算を有効活用する。</p> <p>縦割り班で清掃を行うなど、児童自身で学習にふさわしい快適な環境をつくる。</p>	B <p>B</p>	
	<p>A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート（11）各対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>全教員が校内において一人1公開授業を行い、指導力の向上を図る。</p>	A	

		B2 学校マネジメントサイクルを生かし、教育活動の継続的な充実・改善に努めている。	中間期評価や学校公開などでの保護者・地域住民等へのアンケートなどを生かし、組織的に教育活動及び学校運営の改善を行う。	B	<p>○B2</p> <p>職員を4つのプロジェクトチームに分けて組織的に取り組みを進め、あいさつの推進など成果が上がりつつある。</p> <p>中間期評価やアンケートを予定通りに実施し、年度の途中に取組の工夫・改善を図った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・A9の指導力向上については、保護者の期待の表れでもあると捉え、職員研修の充実などを通して、授業力や児童指導力などの向上を図っていく。</p>
教育活動の状況	生	<p>A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。[全]</p> <p>B3 元気のよいあいさつをする。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート（12 あいさつ）各対象肯定的回答80%以上</p>	<p>児童会主催による「さわやかあいさつ運動」を実施する。</p> <p>（毎週月・水・金曜日、月・水は代表委員会、金は希望者で実施）</p>	A	<p>【達成状況】</p> <p>◎A10・B3（教:100保:79.5地84.6児86.7）</p> <p>数値指標では、保護者がわずかに達成していないが、本校保護者の肯定的回答は市小学校全体と比較して13ポイント上回っており、児童も元気にあいさつできるようになってきた。ただし、言葉づかいや返事については、十分とは言えない。</p> <p>児童会を中心とした「あいさつ隊」の呼びかけにより、児童の意識が高まってきており、様々な場面で自らあいさつできるようになってきている。</p> <p>地域協議会との「さわやかあいさつ運動の日」については、計画どおり月2回実施した。</p> <p>○B4（いじめの発生件数 0件）</p> <p>いじめに該当するものは見られないが、悪口や些細ないたずらはあり継続的に指導している。</p> <p>今後もアンケートを活用しながら、組織的にいじめの早期発見・早期対応に努める。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・A10・B3のあいさつについては、地域協議会の協力を得ながら、児童会を中心とした「さわやかあいさつ運動」をすべての児童に広めていきたい。</p> <p>「言葉づかい」については、「ひらきたよ子の一日」チェックリストを活用して指導していくとともに、あいさつの習慣も含め家庭との連携を図っていきたい。</p>
			<p>地域協議会と連携を図った「さわやかあいさつ運動の日」を実施する。</p> <p>（毎月第1・3金曜日）</p>	B	
		<p>児童一人一人のよさについて理解し、互いに認め合い、励まし合えるような指導を徹底する。</p>	B		
		<p>B4 誰とでも仲良くする。</p> <p>【数値指標】</p> <p>いじめの解消率100%、または発生0件</p>	<p>いじめなど学校生活に関するアンケート（年4回）による早期対応に努める。</p>	B	
健康・体力		<p>A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。[全]</p> <p>B5 好き嫌いなく食事をする。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート（14 好き嫌いなく）各対象肯定的回答80%以上</p>	<p>給食の献立紹介などを通じた栄養指導を充実する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>○A11・B5（教:100保:78.7児74.1）</p> <p>朝食については、ほぼ全員が食べている。</p> <p>好き嫌いについては、数値指標を保護者と児童でわずかではあるが達成していないが、給食指導において、感謝の気持ちや一口でも食べる指導をしており、徐々に改善されてきている。</p> <p>「親子食育・健康教室」は9月16日に実施し、児童・保護者・職員合計80名が参加した。学校医を講師として『病気になる生活のしかた』についての授業を行った。児童</p>
			<p>「親子食育・健康教室」（5・6年生対象）を開催する。</p>	B	
		<p>B6 健康な心と体をつくる。</p> <p>【数値指標】</p>	<p>体育的行事や各種検定に向けた組織的な活動（持久走大会の練習・なわとび集会など）を工夫する。</p>	A	

	<p>全体アンケート（15 積極的に運動）各対象 肯定的回答 80%以上</p>	<p>各運動領域において、一人一人の伸長を図るための記録（「平石北のたくましい子」）を累積する。</p>	B	<p>の健康への意識・関心を高めることができた。 ○B6（教:100保:96.2地92.3児88.5） 数値指標は全対象で達成しているが、健康診断の事後措置については、1月末現在、う歯72.4%、視力低下60.0%、その他はほぼ処置済みである。</p> <p>体育的行事や各種検定に向けて、進んで練習に取り組む児童の姿も見られた。「平石北のたくましい子」での累積は、運動への意欲の向上につながっている。</p> <p>【次年度の方針】 ・A11・B5の「食育・健康教室」は、講話の対象・内容を検討しながら、いろいろな場面からの指導の必要性・重要性を考え、今後も継続していきたい。 ・B6については、体力作りのため、様々な運動に取り組みさせていく。また、健康診断の事後措置については、保護者への啓発をさらに図っていく。</p>
		<p>定期健康診断後の事後措置を徹底するための保護者と連携した指導を実施する。</p>	B	
		<p>就寝時刻の指導など家庭と連携して健康的な生活習慣を確立する。</p>	B	
学 習	<p>A12 授業に熱心に取り組む、基本的な学習態度・技能が身に付いている。[全]</p>	<p>学習意欲の向上のための効果的な発表の場の設定を工夫する。</p>	B	<p>【達成状況】 ○A12・B7 (積極的 教:100保:76.5地84.0児86.2) (落ち着いた 教:93.3保:70.4地84.0児83.9) 積極的・落ち着いたともに、保護者が数値指標を達成していないが、他の対象の結果や日常の観察などから、ほぼ良好である。 発表や話し合いの場を設定し、友達と学び合って意欲的に学べるよう工夫した。また、ほとんどの児童が課題に対して真面目に取り組んでいるので、さらに、苦手なことにもチャレンジし、努力することで乗り越えていく達成感を味わわせたい。</p> <p>家庭学習については、「家庭学習の手引き」を作成・配布するなど、各学年でやり方を工夫し自主学習に取り組めるようにした。 ゲストティーチャーやボランティアを積極的に生かし、授業の充実が図られた。</p> <p>◎B8（1か月あたりの読書量 24.4冊） 数値指標を達成している。ただし、学年差や個人差があるので、一人一人に応じた支援をしていく必要がある。 読書好きな児童が多く、集中して本を読んだり、進んで活用しようとしたりできるようになってきている。 全校朝の読書は、読み聞かせボランティアの協力を得ながら計画どおり実施した。</p> <p>【次年度の方針】 ・A12・B7については、次年度も、一人一人のよさや成長を認め、それを授業の中で発揮できるよう発表や学び合いの場を設定する。 ・B8については、読書領域の拡大を図り、特に高学年においては、図書からの情報収集を効果的に行えるように指導の工夫をする。</p>
	<p>B7 意欲をもって進んで学習する。 【数値指標】 全体アンケート（16 積極的 17 落ち着いた）各対象 肯定的回答 80%以上</p>	<p>家庭での「自主学習の日」を設定する（学年に応じて週1回以上）。</p>	B	
	<p>B8 本をたくさん読む。 【数値指標】 児童の1か月あたりの読書量20冊以上</p>	<p>ゲストティーチャーや授業支援ボランティアの協力を得て指導の充実を図る。</p>	A	
		<p>全校朝の読書を実施する（毎週火曜日・木曜日朝15分間）</p>	B	

本校の特色・課題等	<p>B9 地域の特性を生かした活動や地域の人々との交流を通して、地域の人や自然を愛する心を養うとともに、社会性を身に付けさせる。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート各対象</p> <p>90%以上</p>	<p>地域の人々や自然・産業などを生かした体験活動、「平北ファーム」での農園活動、敬老者の方々との交流活動などを実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>◎B9（教:100 保:91.6 地:88.4 児 93.6）</p> <p>地域住民は、「判断できない」が7.6ポイントあり、数値指標を概ね達成している。</p> <p>地域の方々の協力を得て、計画通りに体験活動等を実施することができた。</p> <p>児童の活動については、写真を豊富に活用し、校内掲示やホームページの充実を図った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も、児童の豊かな心の育成を目指して、地域の方々の協力をより一層得ながら、特色ある教育活動を推進していく。</p>
		<p>児童自身が活動の成果を発表する機会を充実するとともに、活動の様子を校内に掲示するなどして、意欲や満足感を高める。</p>	

〔総合的な評価〕

- ・児童の日常の状況や全体アンケート結果等から全体的に見ると、本校教育は良好に進められていると考えられる。
- ・保護者へのアンケートでは、教員の指導力に関する2つの評価指標において、肯定的回答の割合が低かったことから（市小学校全体と比較しても低い）、今後も「分かる授業」や「きめ細かな指導」などについて、学校全体で研修を深めていく必要がある。また、次年度11月に、宇都宮市における生活科・総合的な学習の時間の研究発表会を行うので、その研究を通して授業力の向上を図っていく。
- ・児童の生活面では、あいさつの定着に力を入れて取り組んできた成果が、全体アンケートや児童の日頃の様子に表れている。あいさつの定着には、学校・地域・家庭それぞれの場面における教職員・地域住民・保護者の関わり方が大切であるので、今後も連携を深めながら重点的に取り組んでいきたい。
- ・児童の健康・体力面では、運動への積極的な姿勢が見られるが、生活習慣や健康診断の事後措置の大切さなどについて家庭の意識を高めていく必要がある。
- ・児童の学習面では、授業への積極的な態度は以前より見られるようになってきたが、話をしっかり聞くことなど落ち着きや集中力も大切なので、今後も学習の規律や態度の指導にも力を入れていく。
- ・特色ある教育活動や学校運営などについては、地域人材や学校支援ボランティアの協力により充実してきたので、今後も地域協議会を中核として連携・協力を深めていきたい。
- ・次年度も、学校と家庭・地域の双方向の関わりを大切にして、児童のよりよい成長や教育内容の充実などに努めていく。

6 学校関係者評価

- ・保護者のアンケート結果で達成状況が良くないところは、教育の更なる向上を求めているからだと思う。先生方に頑張ってほしいという保護者が多い。
- ・児童一人一人には違いあり、子どもたちをまとめていくことは先生方も大変である。
- ・学校によく来る保護者、来ない保護者がいる。多少でも学校に来たいという刺激があれば学校がもっと肯定的に見えるのではないかという感じもする。
- ・あいさつがよくできる児童が多い。これからも、あいさつに力を入れてほしい。
- ・学校に来る回数が多いとの声があるが、年間で全員が来ればよいと考えてもよいのではないか。中学校では、平石北小学区の保護者はよく参加しており、中学校では保護者が学校に来ないことが問題となっている。
- ・保護者が学校に来ることが、ある程度負担になるくらいで良い。保護者の子どもへの関わりと子どもの健全な成長は比例している。
- ・自分の子どもを叱れない親もいる。
- ・教育については、教育の専門家である先生の言うことを聞いたほうが良い。
- ・本校での教育はしっかり行われていると思う。卒業生は、中学校でも生徒会などしっかりやっている。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- ・教職員の指導力向上は学校の使命であり、次年度も職員研修等を通して授業力などの向上を図っていきたい。
- ・学校とPTAが連携・協力を図り、学校運営やPTA活動の在り方について検討していく。
- ・「さわやかあいさつ運動」については、次年度も児童会活動、地域協議会活動の中核として取り組んでいきたい。
- ・今後も、「活気あふれる地域の学校」を目指し、子どもたちのよりよい成長のために、学校と家庭・地域との連携・協力を深めながら、本校教育の充実・向上に努めていく。